



漢方を糖尿病診療に 上手に取り入れるための実践本

評者 | 古川慎哉 愛媛大学 総合健康センター

田村朋子先生と新見正則先生との共著で、フローチャートシリーズに「糖尿病漢方薬」が登場しました。糖尿病の治療は、食事や運動をはじめとした生活習慣の見直しが基本となります。生活習慣を変えようとしている患者さんを診ていると、私たちがどうか後押ししたいという気持ちにしばしばなります。そんな患者さんを支えることは、臨床家の力の見せ所でもありますし、糖尿病診療の面白さの1つだと思います。

糖尿病患者のさまざまな訴えに「漢方」を

田村先生は、広島市内で糖尿病専門医として開業されており、コーチングにも造詣が深い方です。糖尿病専門医の知識や経験に加えて、臨床に「漢方」を取り入れて、患者さんからも大変喜ばれているようです。「漢方薬を糖尿病で使うのか？」と思われる先生も多いかもしれませんが、本書にはその経験に基づいて、漢方薬の処方経験が乏しい先生にもわかりやすく、フローチャートで明確に示されています。「ストレス食いをやめたい」「疲れて甘い物が欲しい」「疲れて運動療法が続かない」「むくみを伴うめまい」など診察室でよく聞く訴え別の処方やその症状に合わせた処方のコツが各頁のひとことメモで紹介されています。糖尿病患者さんの訴えやさまざまな症状に真摯に対応することは、糖尿病への治療効果も高めることにつながります。国内の漢方エキス剤は大きな副作用もなく、比較的安全に処方が可能とされていますが、本書では加えて各処方では注意すべき甘草など生薬の含有量も記載されている点も見逃せません。また、本書のように糖尿病患者での漢方薬の使い方をまとめた実践的な本はありません。

本書では、田村先生が日常臨床で活用されている「コーチング」にも触れられています。コーチングに加えて漢方の知識や経験があれば、糖尿病患者さんのさまざまな訴えを聴くことが楽しくなりそうです。本書はコンパクトで、一目でわかるフローチャートは日常臨床で使い勝手がよいことは間違いありません。「幸せに向かう人生を応援します」が、田村先生の診療のモットーだそうです。先生方も、ぜひ本書を診察室に備えていただき、上手に漢方を糖尿病診療に取り入れて、患者さんに笑顔になっていただきましょう。

G



フローチャート 糖尿病漢方薬

漢方でインスリンは出ません！

新見正則、田村朋子＝著

定価：3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）
B6 変判・180 頁／新興医学出版社／
2022
[ISBN978-4-88002-881-1]